

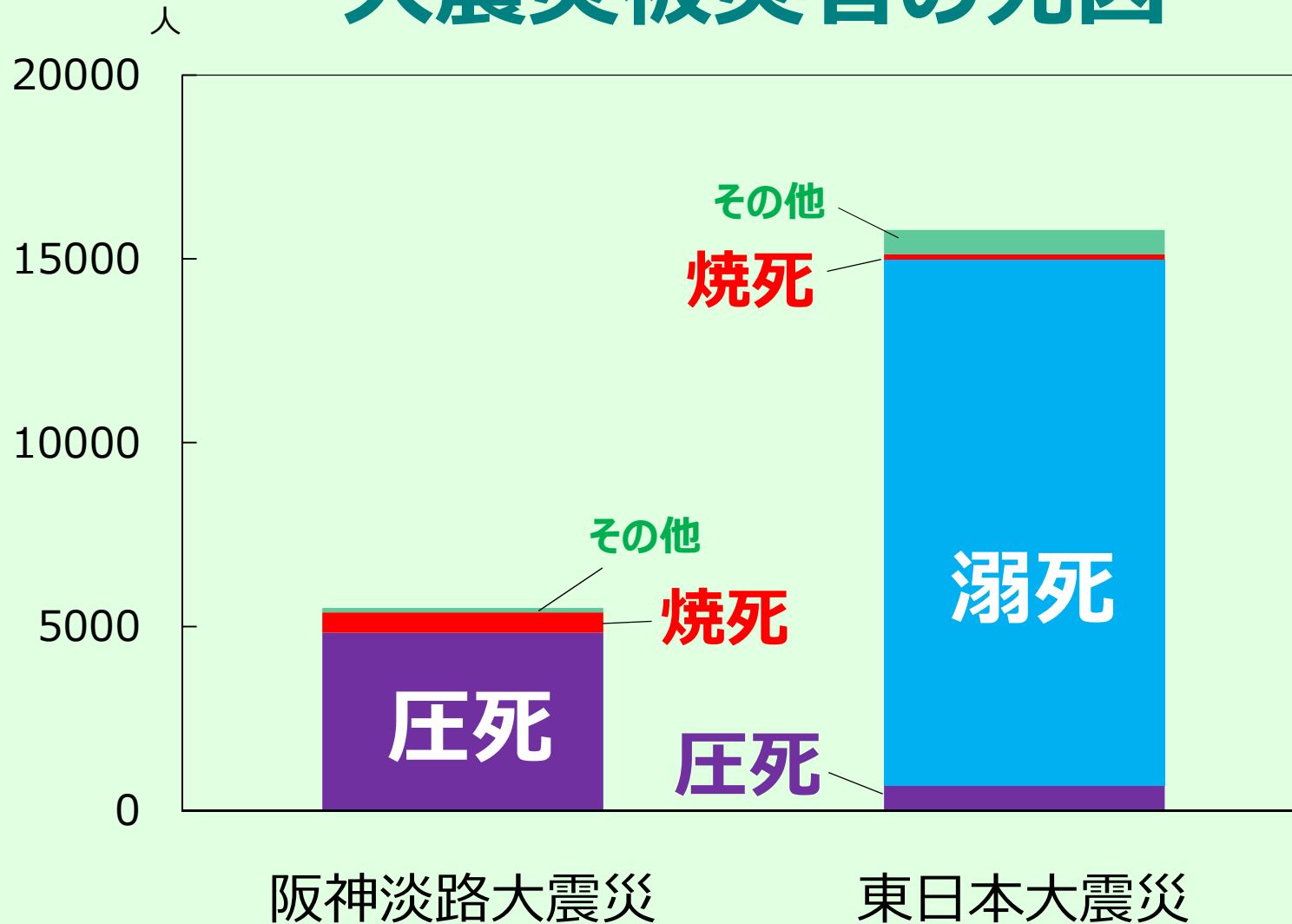
2018年(平成30年)7月1日
青梅市自治会連合会
新任自治会長研修会

トランシーバーによる 安否確認

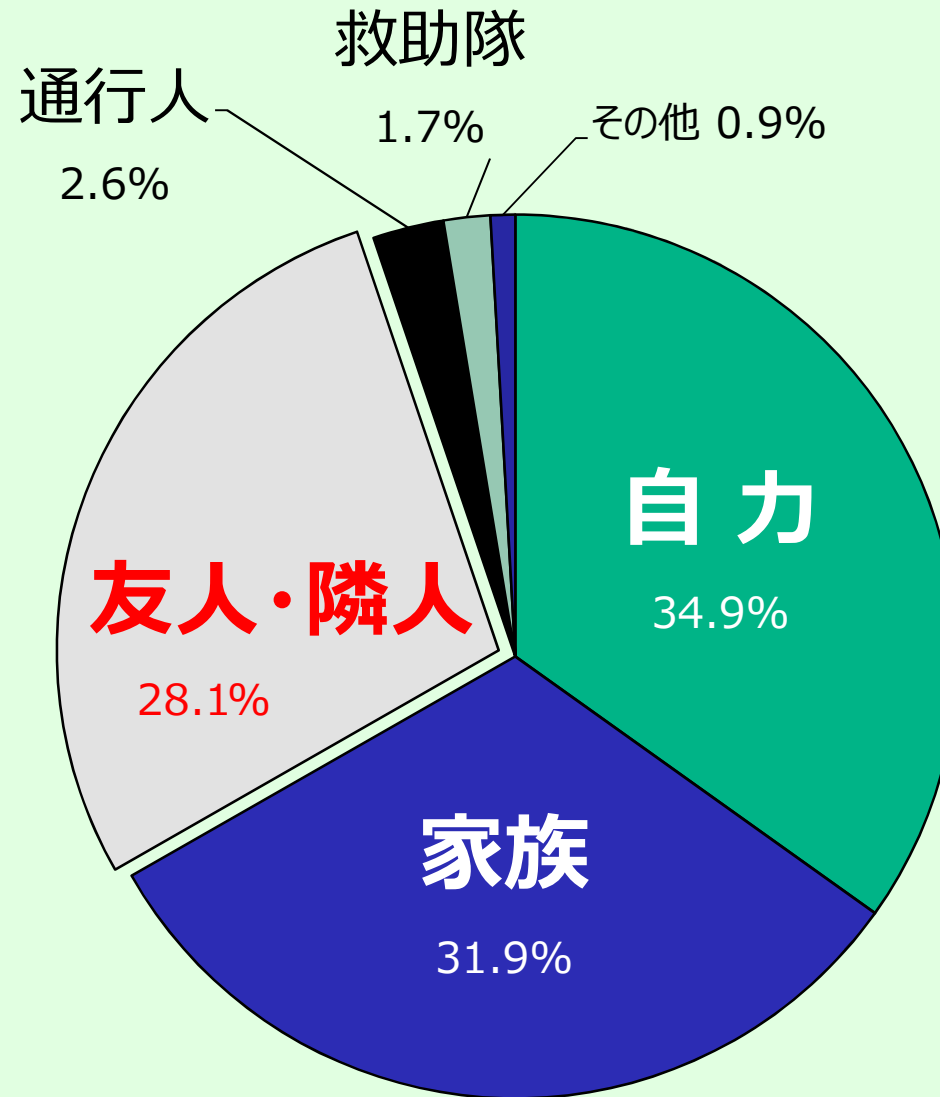


沢井二丁目自治会 青木 孝

大震災被災者の死因



阪神・淡路大震災での救助状況



日本火災学会（1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書）より

トランシーバーの導入

(沢井二丁目の事情)

- 東西に1 km、南北に200mの細長い傾斜地に93世帯が散在
- 電話が不通になると迅速な連絡・情報収集ができない

トランシーバーの機種選定

- 小型軽量・がんじょう・防水
- 電源はアルカリ乾電池

トランシーバー購入の経費

- 自治会予算
- 地域の底力再生事業助成金
- 市コミュニティ事業補助金



安否確認と黄色いタオル



安否確認と黄色いタオル

大地震発生



自分と家族の
安全確認



無事の場合はタオルを
玄関先などに



隣近所の安否確認
タオルの有無
声をかける

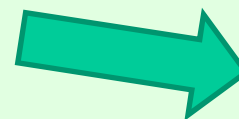


救助活動

安否確認から 救助活動まで

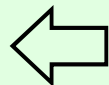
トランシーバー

地区連絡員



災害対策本部

消火救助隊



トランシーバーの通信訓練

- 第2日曜、朝7時～
- 三田地区自主防災委員会主催の
防災訓練の日
自治会独自に安否確認を追加

トランシーバーの使用状況

- 2014年2月の大雪の際に
積雪や被害の把握と情報共有

トランシーバーは複数を手元に一斉に伝達できる。

- 台風襲来や大雨時の情報交換
- 行事等における連絡